

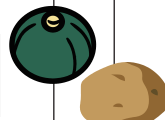
「14 戦争と市民」の資料で、戦争の時の子どもたちの生活について調べよう。

☆左の献立表(14-2)を見て、「 」をかいてみよう。

14-2 献立表 昭和19年8月(1944)

日	土	金	木	水	火	月	月日
27	26	25	24	23	22	21	8月
		味噌汁 馬鈴薯煮付 こんぶ	味噌汁 南瓜 こんぶ	味噌汁 こんぶ	味噌汁 こんぶ	味噌汁 こんぶ	朝
		雑炊 南瓜 こんぶ	雑炊 南瓜 こんぶ	雑炊 こんぶ	雑炊 こんぶ	雑炊 こんぶ	昼
魚煮付	茄子の油揚げ	南瓜の煮付	南瓜の煮付	清汁 茄子	馬鈴薯煮付	にしん 馬鈴薯煮付	晩

南瓜(なんきん)…かぼちゃ
馬鈴薯(ばれいしょ)…じゃがいも



これは学童疎開
に行った子供た
ちが食べていた
ご飯だよ。

毎日同じものを食べて
いたんだね。でも、量
が少なくて、おなかは
すいていただろうね。



学童疎開

太平洋戦争中、空襲を避けるため、子どもたちは親元を離れ、先生に連れられ田舎へ行き、安全なところでくらしました。これを学童疎開といいます。

この献立表は、正木国民学校（現中区正木小学校）の子どもたちが三重県に集団で疎開をしたときのものです。

☆他の展示品を見て、子どもたちの生活の様子をもっと調べよう。

●着る物はどうしていたのだろう●



物が不足していたので
お金の他に

がないと買うことがで
きなかった。

14-2

●日用品はどうしていたのだろう●



戦争のために鉄が
不足していたので、
湯たんぽは

で作られた。

14-2 湯たんぽ